

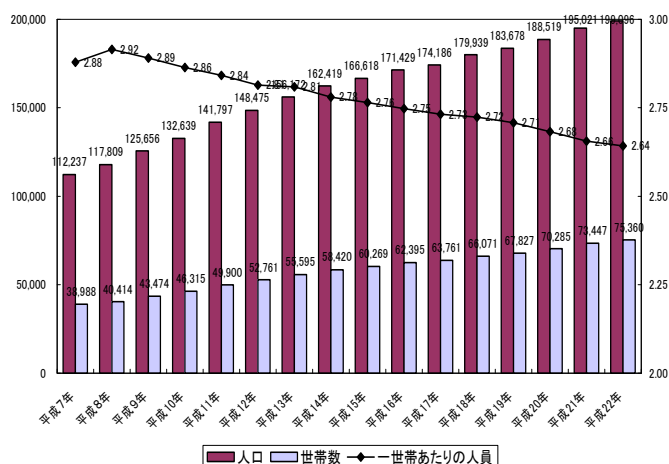


第3章 統計データや区民意識調査結果等から見た都筑区の状況

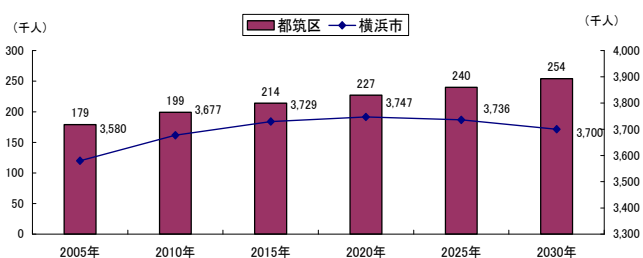
○ 今後も続く人口増加と世帯構成の小規模化

都筑区の人口は、子育て世代の流入により、平成6年の都筑区の誕生以来増加し、平成22年4月に20万人を突破しました。将来推計人口では、**横浜市**の人口は、平成32年(2020年)ごろをピークに減少に転じますが、**都筑区はその後も増加が続くことが予測されています**。世帯構成は、一世帯あたりの人員数は市内では最も多くなっていますが、一方で、**核家族の割合が泉区に次いで高く、一世帯あたりの人員数は年々減少しています**。今後も、核家族化とともに、「夫婦と子ども」世帯が減少し、「夫婦のみ」や「ひとり暮らし」世帯が増加していくなど、**世代にかかわらず、世帯が小規模化していく傾向にあります**。

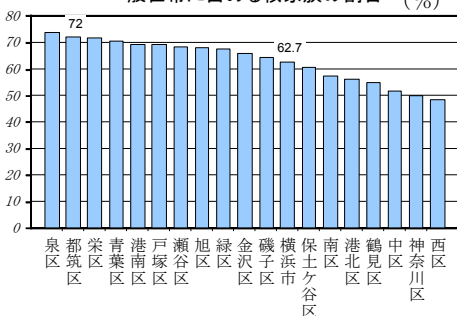
都筑区の人口と世帯数の推移〔各年1月1日現在〕



将来推計人口（平成17年国政調査による人口を基準に推計）



一般世帯に占める核家族の割合 (%)

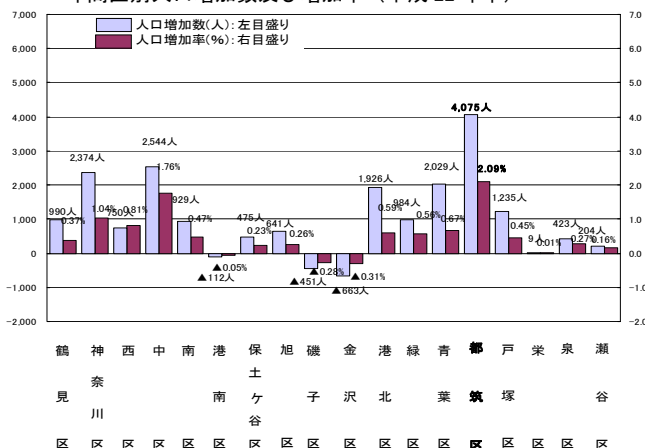


	【2010年】		【2030年】
夫婦と子供からなる世帯	33,348 45.8%	減	36,917 37.6%
夫婦のみの世帯	14,760 20.2%		23,651 24.1%
男親と子供からなる世帯	889 1.2%	増	1,525 1.5%
女親と子供からなる世帯	3,910 5.3%		5,956 6.0%
単身世帯	15,278 21.0%		23,425 23.8%

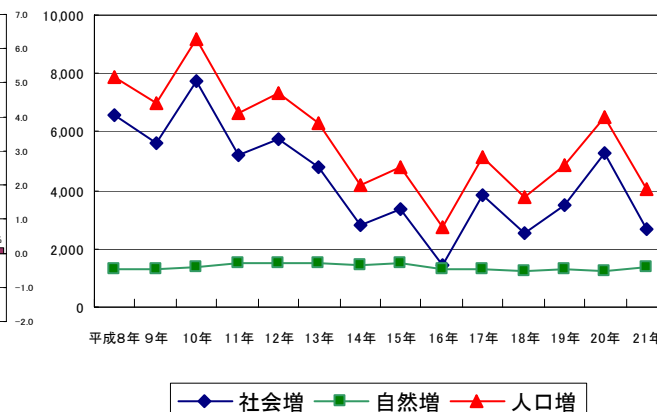
○ 転入者の増加

都筑区は、**人口増加数、増加率ともに市内で最も高い状況となっています**。人口増加の理由としては、**社会増（転入－転出）によるもので、自然増（出生－死亡）が一定数で推移する一方、社会増は、自然増を毎年上回り、人口全体としては、年平均 6,000 人規模で増加している状況です**。

年間区別人口増加数及び増加率（平成22年中）



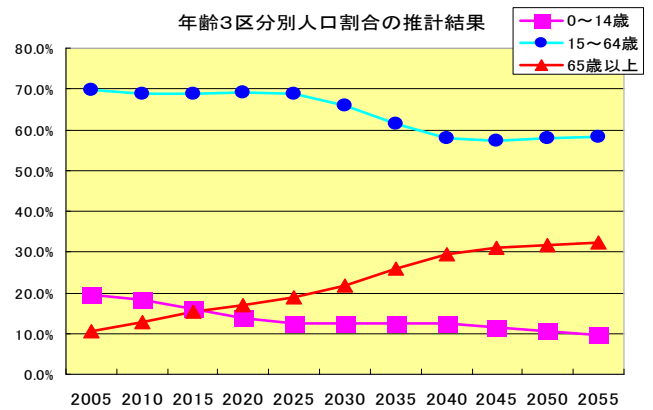
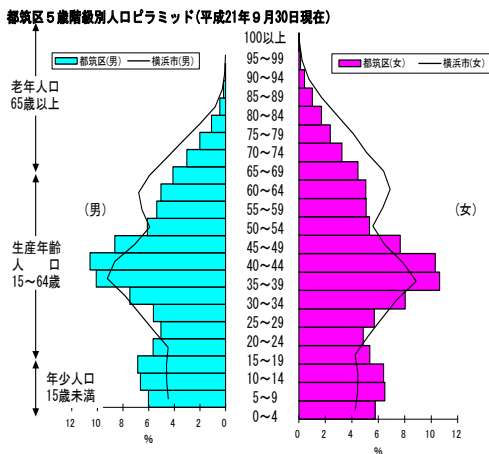
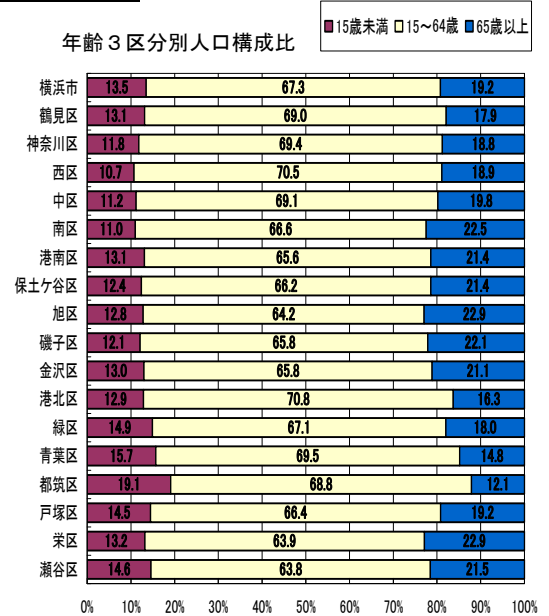
都筑区の社会増減・自然増減の推移 (人)



○ 年少人口割合と老年人口割合の逆転と少子高齢化の進展

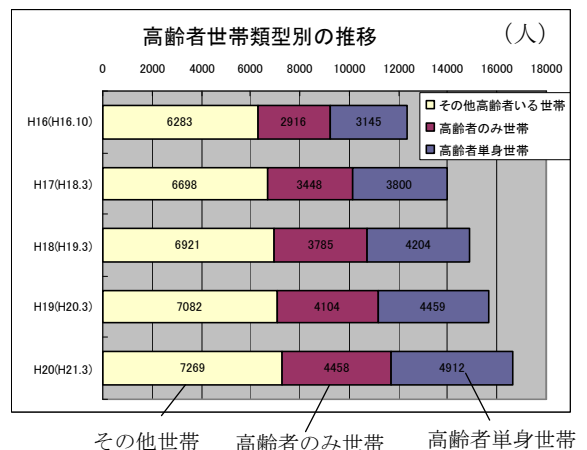
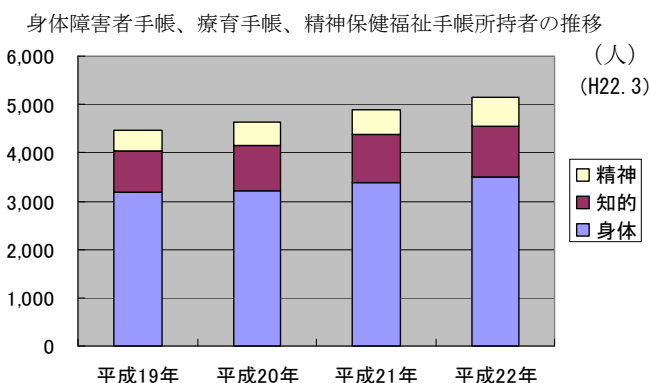
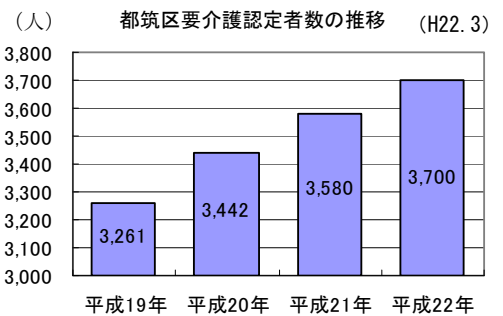
(H21.9)

人口構成としては、横浜市全体に比べ、子育て世代の35歳～50歳未満とその子ども世代となる0歳～20歳未満の人口が多く、50歳代以上が少ない状況です。市内で最も平均年齢(38.0歳)が若く、15歳未満人口の割合(19.1%)が高いことが都筑区の大きな特徴となっています(H21.9)。推移としては、15歳未満人口の割合は平成16年をピーク(20.0%)に下降に転じ、65歳以上人口の割合は、年々上昇しています。今後は、15歳未満人口(年少人口)割合と65歳以上人口(老年人口)割合が逆転し、少子高齢化が進んでいくという予測がされています。



○ 要介護認定者、ひとり暮らし高齢者、障害者手帳所持者の増加

都筑区の高齢者数は、24,663人で、65歳以上人口の割合は、市内で最も低い12.3%となっています(H22.3)。要介護認定者数は、3,700人で、高齢者に占める割合は、14.4%で年々増加しています(H22.3)。高齢者単身世帯、高齢者のみ世帯が年々増加しています。また、身体障害者手帳所持者、療育手帳所持者、精神保健福祉手帳所持者は、いずれも増加傾向にあります。



○ 地域の状況～日頃の近所づきあい～

平成21年度に実施した区民意識調査の結果では、近所づきあいの状況は、「あいさつをする程度」が44.2%、「立ち話をする程度」が25.1%で「お互いに訪問しあっている」、「お互い困ったときには助け合っている」を合わせて約2割となっています。

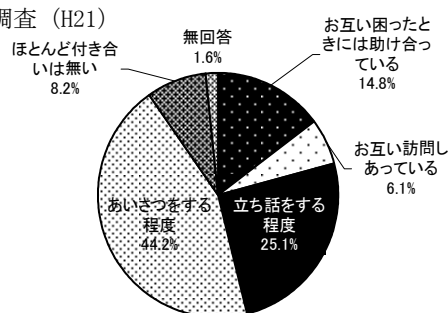
「お互い困ったときには助け合っている」は、「50歳代」を除き、年代が上がるに従って増加する傾向にあります。また、「20歳代未満」、「20歳代」は、日ごろの近所づきあいは希薄で、「お互い困ったときに助け合っている」と「お互いに訪問しあっている」を合わせて約1割となっています。特に、「20歳代」では「ほとんど付き合いは無い」が約2割で、他の年代に比べ10ポイント以上高い状況となっています。

一方、平成19年度の横浜市民意識調査結果では、「地域での交流やつきあいを必要と思う」が77%という結果もでています。

日ごろの近所づきあいの状況

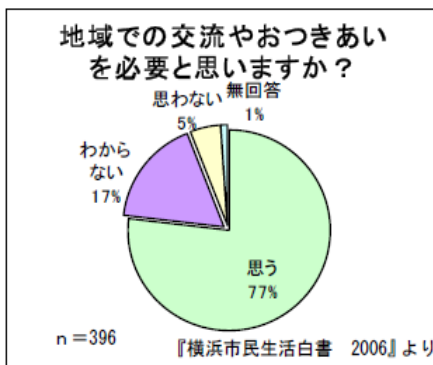
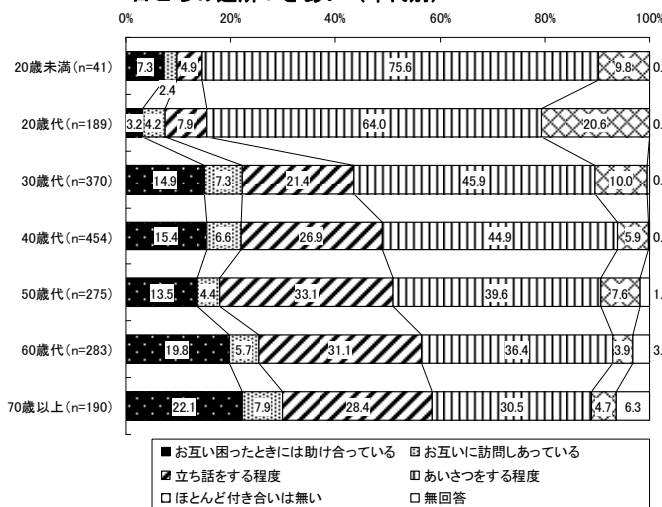
都筑区区民意識調査 (H21)

お互い困ったときには助け合っている	14.8%
お互い訪問しあっている	6.1%
立ち話をする程度	25.1%
あいさつをする程度	44.2%
ほとんど付き合いは無い	8.2%
無回答	1.6%



日ごろの近所づきあい (年代別)

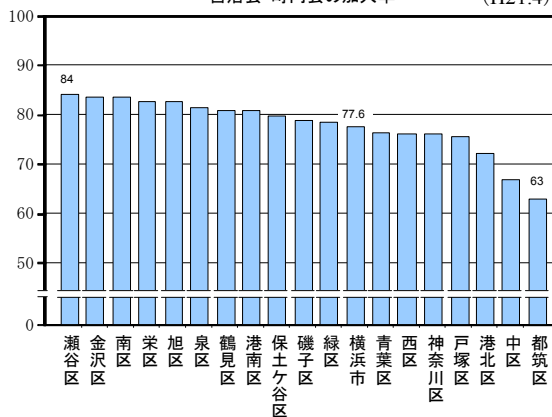
都筑区区民意識調査 (H21)



○ 地域の状況～自治会町内会～

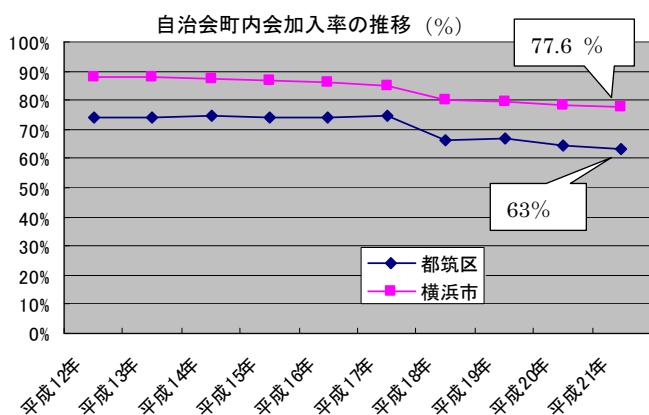
都筑区の自治会町内会数は、114 団体、加入世帯数は、47,864 世帯 (H21.11) です。自治会町内会加入率は、63% (H21.4) で、市内で最も低く、横浜市、都筑区ともに年々低下している状況になっています。区民意識調査の結果では、自治会町内会に加入していない理由で、最も多いのは「特に勧誘されていないから」が39.9%となっています。

自治会・町内会の加入率 (H21.4)

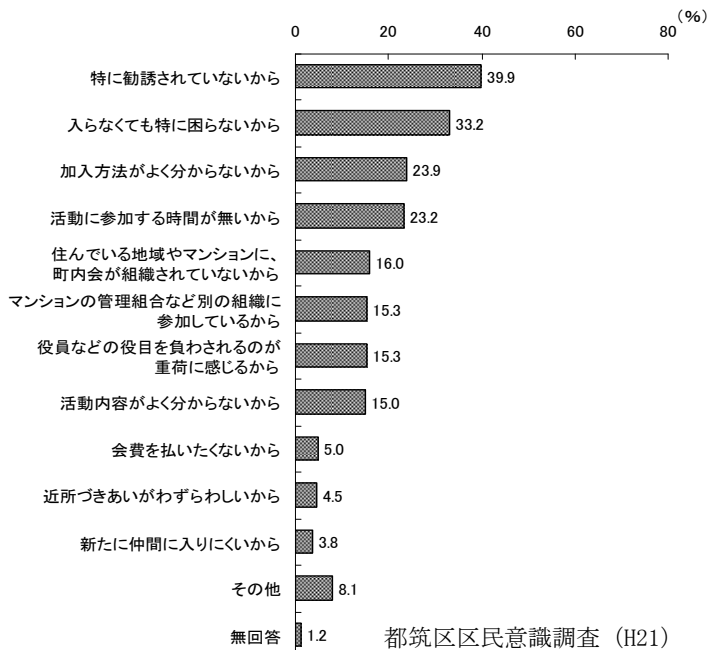


都筑区における自治会町内会団体数・加入世帯数

H21.11.1現在		
	団体数	世帯数
連合町内会(15)加入団体	92	40,668
未加入団体	22	7,196
計	114	47,864



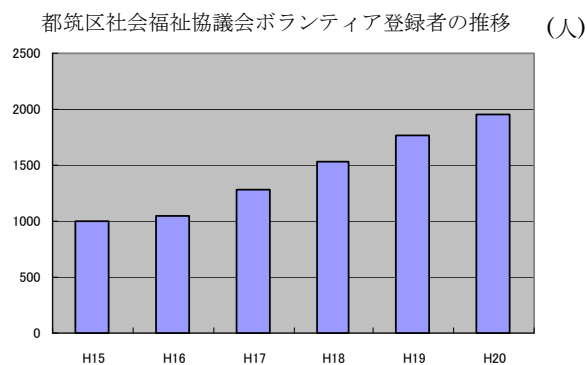
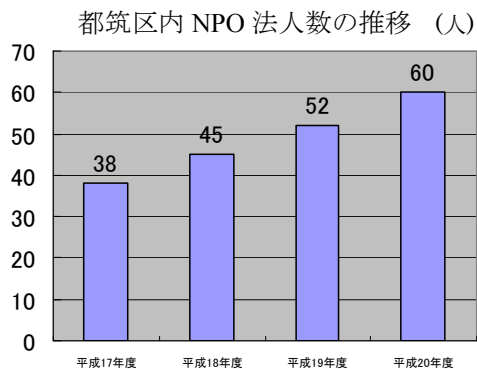
自治会町内会に入っていない理由



○ 区内の社会貢献活動の状況

区内の NPO 法人数や区社協ボランティア登録者数は年々増加しています。

平成 21 年度区民意識調査結果では、過去 1 年間の社会貢献活動については、「活動経験がある人」が 26.6%、「活動経験がない人」が 73.4%となっています。また、今後の社会貢献活動への参画意向は、「参画したい」が 33.6%で、「過去 1 年間に活動経験あり」と比較すると 7ポイント増加しています。



[社会貢献活動の過去 1 年間の経験及び今後の参画意向] 都筑区区民意識調査 (H21)

